

平成28年度 12月補正予算案



京 都 府



補正予算の基本方針

- ◆ 先の9月定例府議会においては、伝統産業支援を内容とした第1次緊急経済対策、また、国補正予算を織り込んだ第2次補正予算を編成
- ◆ 今回は、9月補正以降の関係機関との調整経過等を踏まえ、国の経済対策を活用した第3次緊急経済対策として中小企業振興対策や、福祉共生対策について、速やかに予算化を図る

補正内容

1 第3次緊急経済対策

2 福祉共生対策

第3次緊急経済対策



第3次緊急経済対策①

新 北部産業創造センター（仮称）整備費

762 百万円

4者合意

府・綾部市・グンゼ・工織大の4者が、ものづくりをコンセプトにした新たな交流と産業創出を目指す拠点の整備を進めることに合意

整備内容

30年度オープン

7億円規模

- 「北部産業技術支援センター・綾部」をリニューアルし、産学公連携による交流型次世代ものづくり支援拠点を新たに整備

<施設概要>

- ▶ コワーキングスペースの新設
- ▶ 「学」の研究支援室の新設、
「公」の技術支援室の強化
- ▶ 設計開発サポートセンターの新設、
オープンファシリティ（機器貸与）の強化





第3次緊急経済対策②

新 けいはんなプラザ産業支援基盤整備費

343 百万円

3億円規模

～ 理研の「科学技術ハブ」立地を受けた学研の機能強化 ～

目的

理化学研究所の科学技術ハブをけいはんなプラザスーパーラボ棟に立地することにより、中核研究施設としての機能をさらに強化するため、スーパーラボ棟及びびラボ棟の研究環境の整備を行う

中核研究施設としての環境整備

- ▶ 理研と府内企業との共同研究を促進するためのスーパーラボ棟の整備（高度な研究に対応した温湿度を管理する空調整備等）

企業集積化のための環境整備

- ▶ ベンチャー企業等の更なる集積を図るためのラボ棟の整備（事務オフィスフロアを研究室フロアにリノベーション）





第3次緊急経済対策③

府民公募型整備事業費（債務負担行為）

500 百万円

5億円規模

- 29年度発注予定の事業箇所のうち、今年度に発注可能分を前倒し
 - 年度内に準備することで、事業の早期執行と事業量の平準化が可能
 - 河川改修等については出水期までに完了させ、防災等に効果

福祉共生対策



福祉共生対策

3億円規模

新 高齢者共生型まちづくり事業費

300 百万円

- 誰もが生涯にわたり共に安心していきいきと暮らせる共生社会を実現するための拠点施設整備への助成

高齢者共生型まちづくり（京都版CCRC）構想

- ▶ 医療や介護の集積地をベースとして、多世代交流や健康づくりなど「共生型まちづくり」の京都モデルを整備し、全国に広く発信
→ 候補は公募で選定

新 ファミリーホーム開設支援事業費

8 百万円

- 府北部地域で初となるファミリーホーム開設への助成
- ▶ 負担割合：国 1 / 3 府 1 / 3 事業者 1 / 3

【ファミリーホームとは】

- ・ 被虐待児など要保護児童を、より家庭的な環境で養育するもの
- ・ 里親のうち多人数（定員5名～6名）を養育するもの
- ・ 養育者がその住居を本拠として児童と共に「ひとつの家族」として生活するもの

そ の 他



そ の 他

新 位置情報観光活用システム構築事業費

11 百万円

- 民間事業者が開発する位置情報データベースにアクセスできるインターフェースを構築
- 「京都観光情報応援大使」が隠れた観光スポットをインターフェースを通じて入力しデータベース化

※ 「京都観光情報応援大使」 → 商店街の方、留学生、名誉友好大使、公募による登録者 等



- ▶ 「ポケモンGO」を活用したポケストップの増設と観光情報の提供
- ▶ 府・市町村等がデータを活用した観光イベント等を展開

→ 府内への誘客に効果



予算案の規模

平成28年度 現計予算

984,696 百万円

平成28年度 12月補正予算

1,424 百万円

合計

986,120 百万円

対前年12月補正後比較
(101.7 %)